

野向地区座談会 議事要旨

○と き:平成 22 年 7 月 29 日(木)19:00~21:15

○と ころ:野向公民館

○テ ー マ:第5次勝山市総合計画

○出席者:50名

◎第5次勝山市総合計画について説明(未来創造課)

◎都市計画マスタープランについて説明(都市政策課)

Q1	<p>・先日 JA 福井市からバス2台で恐竜博物館に行くが、お弁当を手配できないかと聞かれ、市役所に問い合わせたところ、お弁当を頼めるところはないといわれた。私たちが団体外に出掛けるときには、その市役所や JA に問い合わせしてお弁当を手配するが、勝山にはそういうところがない。勝山にお弁当を頼めるところを作ってもらえるとありがたい。</p>
A1	<p>・市役所に問い合わせたところ、しっかりした回答が得られなかったということについてお詫びしたい。これまでも恐竜博物館に大勢の観光客が来ても市内で昼食を食べるところがないという声を頂いているが、現在市内の業者、飲食店が昼食、昼食場所を提供する動きが広がりつつある。こうした民間の動きと並行して、市としても、今後問い合わせに対して、勝山で食事ができる場所、お弁当が手配できる場所をお答えできるような体制をとっていきたい。</p>
Q2	<p>・小学校を3つにすることだが、前の素案では今の中部中学校の場所が中部小学校になるということによかったが、見直しで変更になってしまった。野向としては村岡小学校を中部小学校にしてほしいという気持ちがある。</p>
Q3	<p>・統廃合で市内の小中学校の数が減るが、減るということは雇用という意味で教職員の働く場に影響してくると思う。本来なら市が職場をどんどん作っていくという方向で進んでいくのがいいと思うが、勝山市から教職員の職場が少なくなるので市外に出て行くことに繋がってしまうという危惧がある。雇用を拡大するという面では市としてどう考えているのか。</p>
Q4	<p>・第5次総合計画策定にあたり、人口の流れのシミュレーションをされて計画を進めているのかお聞きしたい。</p>
Q5	<p>・県外から嫁に来た。例えば野向小学校がなかったら結婚して野向町に定住しようとは思わなかった。やはり小学校が近いところに家を建ててそこに住もうと思う。私としては、地域に野向小学校があるから、近年若い人が戻ってきて住むようになってきていると感じているが、統廃合によってそういう人の流れがなくなるのではないかと。</p>
Q6	<p>・今の意見に同感。小中学校の統廃合で野向小学校を無くすことは、過疎化に拍車をかけるようなもの。そういうことがないように、野向町全体を見つめながら全体計画を立てて欲しい。子どもが少なくなると立派な教育ができなくなるというのは総論としてはわかる。小中学校の統廃合は人口減少に伴う対応だと思うが、全町民の気持ちを汲んで地域の発展につながるような政策をやって欲しい。</p>
A2~6	<p>・村岡小学校を中部小学校にという提案だが、それぞれの地域の意見もあるので、提案として承る。</p>

	<p>雇用拡大については、説明にもあったように総合計画の中でもいろんな面に取り組んでいく。教職員については、学校が統合することによってある程度減ることになる。小中学校の教員は県が配置しており人事も県で行っている。他の市町からたくさん教員が来ているという意味では広域的な人事になっており、決して勝山市の人だけが勝山市の小中学校の教員になっているというわけではない。しかし、教員の多くは勝山市の方であるので雇用の面で危惧されるという思いはあるだろうし、教員の中にもそういう思いがある。ただ、以前から、1クラスの人数を減らして教育をするという流れがあるので、そういう面では教員の数を今まで以上に確保しなければならない面はある。小学校の再編については、ある日突然3つの小学校になる、教員の数も一気に少なくなるということは考えられない。何よりも児童・生徒にわかりやすい授業を受けてもらうためにも教員数を今より充実するという考え方で県に働きかけていく必要がある。現時点では、どれ位の教職員数になるかは不透明要素がたくさんあるので申し上げられないが、激減するという事態にはならない。時間をかけて検討させていただく。</p> <p>小学校がなければ人はそこに定住しないであろうとか、過疎化に拍車がかかる、人口シュミレーション或いは地域ごとの人の移動との関連について研究しながら案を示しているのかというご意見は、小学校のことを想定してのご意見だと思うが、小学校については、地域に密着し地域の皆さんの支援を頂きながら運営させていただいており、地域にとってもシンボリックな存在になっている。地域ごとの特性もあるので、十分時間をかけて話し合いをさせていただきながら、統廃合の時期・方法論等の研究、協議をさせていただきたい。そのプロセスの中で、ご指摘の点を考えに入れながら話を進めさせていただきたい。</p>
Q7	<p>・野向小学校の場合、「青効会」という PTA の会があるが、青効会は野向町全戸が会員である。小学校のことであっても保護者の意見だけではなく野向町の住民の意見を聞く必要があるということを入れておいてもらいたい。</p>
A7	<p>・保護者の意見は当然大切であるが、地域の学校だという色彩が強いので、地域の皆さんのご意見も十分お聞きして進めていく。</p>
Q8	<p>・新体育館を建設して国体のバドミントンのメイン会場にしようということは大変いいことだと思う。</p> <p>ゲートボールをやっているが、3～4年前までは林業者体育館を使っていたが、週2日しか使えない、マットを敷く、片付けるという作業が大変で結局使わなくなってしまった。現在は農協の体育館にコートを敷いて使っているが、使用できるのは1週間に1日もできない状態。ゲートボールは土コートでないといけないが、県下市町で土コートの体育館がないのは勝山と永平寺町くらいのもので、県下どこにでも土コートの室内体育館がある。新体育館ができた後はそういったことも念頭において体育施設の利用計画を考えていただきたい。</p>
Q9	<p>・アンケートの中で、企業誘致に関して高い数値が出ているが、簡単に企業が来てくれる状況ではないと思う。勝山から福井方面に働きに行っている人がかなりいる。道路が込んでいたりとか時間がかかりすぎるとかを改善し、働く場は地元でなくても勝山周辺の市町、福井周辺にいくというのが現実的だと思う。福井周辺に短時間でいけるような道路の計画をお願いしたい。</p> <p>中部縦貫道路ができたとしても、乗るまでに時間がかかるし、距離的にも遠い。今の</p>

	<p>道路を整備するとか中部縦貫自動車道を無料でもっと早くいけるような案がないのか。</p>
Q10	<p>・市営体育館にしても B&G の体育館にしても市役所に予約を入れてからの利用と聞いている。事前に予約できるときもあるが、急に使用したいときに予約していないから使えないということが発生してしまう。新体育館ができたときには、予約を入れていなくてもすぐ利用できるような方法を考えていただきたい。</p> <p>子どもを生み育てるための課題として、市内で安心して出産できる環境ということを半数以上の方がそう思っている。3人目を出産したとき社会保険病院から福井大学病院に移って出産したが、急に破水したり異常が起きてすぐ病院まで行かなければならないときに、30分以上かけて病院へ行くことに対して不安があった。勝山の社会保険病院に産科を復活させていただきたい。社会保険病院は国の機関なので市としても動きづらいかもかもしれないが努力していただきたい。</p>
A8～10	<p>・体育館の利用について、現在は事前予約を頂き管理人が体育館を開けて管理しているが、B&G の体育館については常時管理人がいるので、当日行っても、もしその日に体育館が空いていれば利用できるということでご理解いただきたい。</p> <p>新体育館の利用については、管理人を配置し、公平でかつ柔軟な利用形態を考えていきたい。</p>
A9	<p>・道路について、野向町から福井方面に通う場合、県道(栃神谷鳴鹿森田線)と国道416号、そして建設を進めている中部縦貫自動車道の3路線がある。416号については機能補償道路として光明寺、轟辺りまでバイパスが建設されているところである。中部縦貫自動車道については、大野～勝山間を平成24年度供用開始を目指してトンネル建設が進んでいる。福井方面は光明寺、轟辺りの用地交渉が進んでいる。県の国に対する要望では H28 年度 開通ということで要望している。勝山市内の国・県・市道についても使いやすいよう改修改良を進めているところである。通勤道路も、市として県・国に対して改修の要望を積極的に進めていきたい。</p>
A9～10	<p>・平成12年の国勢調査の結果では、勝山市から福井市内に働きに行っている人は4000人いる。逆に勝山市に働きに来ている人は2000人で、その差2000人。企業誘致などでその差を少しでも埋めていこうと色々な施策をとってきている。平成元年以降もいくつかの企業が誘致され雇用の受け皿としてできているが、近年はなかなか大口誘致ができていないのが現実。企業誘致を目指すだけの施策ではなかなか雇用が増えないということで、市も昨年からもう少し地場産業に目を向けて、ものづくりあるいは商工業についてもまちなかに店を出すときはサポートしていく制度をつくって取り組んでいる。</p> <p>40分～1時間くらいが通勤圏ということで道路が大切になっている。中部縦貫自動車道に1本機能補償道路を作っているが、早期開通に向けしっかり国、県へ働きかけていきたい。</p> <p>子育て環境日本一を目指して、いろいろな施策を実施している。保育料の軽減は県下でトップクラス、児童センターも都会では有料だが勝山では無料でお預かりしている。不妊治療、インフルエンザなど県下でも他の自治体がやっていないことを勝山市はやっている。なかなか人口増に直接繋がらず出生数は200を割って久しいが、子育て支援は継続してまいりたい。</p>

	<p>社会保険病院の産科がなくなっていることは残念だが、産科医が複数の体制でない と出産の環境ができないということで断念した。大野にも勝山にも出産できる病院医院 がないということで、急遽福井大学病院と連携して、社会保険病院では通常の健診を 受けて、出産は愛育病院や福井大学病院を選択していただいている。緊急の場合に 対応するために、タクシー借上げなど制度は整えている。しかしいろんな不安があるの は事実。社会保険病院については新しい政権の中で早めに受け皿の機能が議案とし て可決され、安心できる中核機能が存続できるようにしていただきたい。</p> <p>社会保険病院としても新しい運営体制に移行した場合、産科を復活させよう、他の 病院とはこうしていこうといった長期的な展望に立った活性化策というものを検討して いる。市としてもこれをサポートして安心できる環境に戻せるよう努力していきたい。</p>
Q11	<p>・基礎的コミュニティのあり方についてで、国道416号線について、現在1.5車線で工 事を進めているが、豪雪地帯であるからトンネルでなければ利用が不便な道路であ る。トンネルをつくるのなら、今の工事は捨て金になるのではないか。</p> <p>将来捨て金になるような工事はやめてトンネルに集中したほうがいい。方向転換す べきである。</p> <p>勝山は企業誘致には不利である。小松空港まで30分でいける道路をつくらなけれ ば地域間の格差解消は望めない。中部縦貫自動車道に416号を接続させるべき。</p>
Q12	<p>・九頭竜川の右岸と左岸を比較すると、左岸は中部縦貫道にえちぜん鉄道、促進住 宅、工場誘致と発展した。このままでは右岸の北部、特に北谷町、野向町、荒土町北 部は過疎が解消できない。九頭竜川の右岸と左岸との均衡の取れた行政をやって いただきたい。</p>
A11	<p>・416号の建設について、公共事業が縮減の方向に進んでいる中で、石川県、福井 県、小松市、勝山市が二つの県、市をつなごうということで工事を進めている。道路は 幅員が4m、路肩が左右50cmずつの5mの道路である。無駄ということはない。両市 が繋がるということを大前提に事業を進めているところ。</p>
A12 (全体)	<p>・それぞれの地区にそれぞれのいいところがある。公共施設が均衡にあるかというそ うではない。右岸でいえば、この10年で恐竜博物館、スキージャンプ、まちなかの整備と どんどん発展している。現在の第4次総合計画において特色ある地域づくりをしてい こうということで地域のみなさんと相談しながらも目標を掲げている。野向地区は、農業を 中心とした地域づくりがなされた市街地隣接地区であり、そのために農村のよさを踏ま えた居住環境整備を進め定住人口の確保を図るということだが、十分達成できている かというとなかなか達成できていないのが現状である。今回の新しい計画の中でも地 域の特色をいかしたこの地区をどうしていくかという素案をつくっていききたい。地区の 区長会などに説明しながら進めていききたい。個人的には野向地区は住環境といい、 心豊かなコミュニティが育っていると思っている。エコミュージアムをはじめてまず地域 のお年寄りが子どもたちに地域の遺産を案内するのも野向地区が初めてである。エゴ マの里、高齢者を中心として出資をして株式会社を作るというこの元気な町、白山山 系の山並みもとてもいい住環境である、それらを活かしながらどういったまちづくりが できるかということもみなさんと十分話し合っていきたい。</p> <p>今後は産業別、区長会などで、また学校問題については8月に入り改めて小学校 区中学校区で議論をさせていただきたい。今生まれたお子さんが6年後10年後シユミ</p>

レーションでどれ位の子ども数かということがわかっている。ただちに統廃合をするのではなく、総合計画を作る期間にみんなで考えていこう、議論をして総合計画にどう落とし込んでいこうかということで素案をお示している。9市あるが、これだけ12地区をどんどん回って議論できるのは、市町村合併を選択をしなかったちよどいいまちの大きさだからできると思っている。まちづくりをみんなでしっかりと議論して、みんなで責任を持ったまちを作っていこうという考えで進めている。

以上